

「大学の魅力づくり」の主な変更（追加・拡充）点

◆本格的な「多文化交流空間」の設置

世界の様々な文化を体感しながら、英語を中心とした語学力とコミュニケーション能力の養成のために設置する多文化交流空間「English Chat Cafe（仮称）」は、各種講座や交流イベントが開催できるスペースの確保と、語学の堪能な職員の配置により、学外からも訪れやすく、効果的なスキルアップが図れる施設とする。

【県民アンケート】

◆就職支援・企業連携の強化

就職支援・企業連携アドバイザーを配置（鳥取、米子、東京、大阪）し、卒業生を含めた全学生の就職活動全般をフォロー（相談、模擬面接、就職先の開拓等）するとともに、大学と企業の間関係を維持するための活動（企業訪問による企業ニーズの把握、共同研究先の開拓等）を展開。

※公立化時の入学生が就職活動を始める H26 から 2 名追加（県内外各 1 名）し、さらなる体制の強化を図る

【県民アンケート、パブリックヒアリング】

◆在学中の資格取得の強化

学内ダブルスクール等の取組に加え、個々の学生のレベルや目指す資格の種類に沿った個別の指導体制を充実させ、資格取得のためのサポートを強化する。

【県民アンケート、パブリックヒアリング】

◆県全域をエリアとする大学づくり

西部サテライトキャンパスには、会議や各種講座が常時開催できるスペースを確保し、学生の教育・実践実習、社会人講座等の展開したり、学生やOB等の交流の場などとしても利用するとともに、就職支援・企業連携アドバイザーの配置により、西部地区の企業との連携窓口、就職活動の拠点として活用する。

【県民アンケート、パブリックヒアリング】

◆大学施設の改善と活用

県民・市民にとって身近な大学となるよう、学生や地域の意見を環境整備やアメニティの向上に反映させ、個人や各種団体等の地域活動の場として、体育施設、図書館等施設を積極的に開放し、土日も含めた有効活用を図る。

【県民アンケート、パブリックヒアリング】